

令和 5 年度
古河市社会福祉協議会事業報告書
第 3 期古河市地域福祉活動計画 3 ヶ年目



社会福祉法人 古河市社会福祉協議会

— 目 次 —

第3期古河市地域福祉活動計画 4つの基本目標	P 2
社協組織	P 3
基本目標1	P 4
（1）災害時支援体制の確保	P 4
（2）小地域福祉活動の推進・見守りシステムの構築	P 5
（3）支え合う人づくり	P 6
（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり	P 8
（5）ボランティアなど地域組織への活動支援	P 9
（6）地域ネットワークの構築	P 11
基本目標2	P 12
（1）在宅福祉サービスの充実・支援（高齢者・介護保険事業）	P 12
（2）在宅福祉サービスの充実・支援（障がい者）	P 15
基本目標3	P 16
（1）生活安定のための環境づくり	P 16
（2）権利擁護の充実（成年後見サポートセンターの拡大）	P 17
（3）相談体制の充実	P 18
基本目標4	P 20
（1）適正な法人の運営	P 20
（2）広報・啓発活動	P 24
（3）財源の確保	P 25

第3期古河市地域福祉活動計画 4つの基本目標

基本目標 1

地域づくりのパートナー・支え合える人づくりをする社協

基本目標 2

支援を必要としている人を包括的、重層的に支える社協

基本目標 3

社会的弱者に寄り添い、権利擁護を推進する社協

基本目標 4

新たな福祉ニーズに柔軟に対応し、次世代へと信頼をつなぐ社協

居場所づくり・地域づくりの応援キャラクター

『らぶちゃん』です！



社協組織

執行体制（40名）

- | | | | | | |
|------|------|------|-----|-------|------|
| ・会 長 | 1 名 | ・副会長 | 2 名 | ・常務理事 | 1 名 |
| ・理 事 | 11 名 | ・監 事 | 2 名 | ・評議員 | 23 名 |

職員体制（92名）【R4年度102名】

○事務局（正職・嘱託）44名【R4年度46名】

- | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|---------|
| ・局長1名 | ・次長1名 | ・課長1名 | ・副参事2名 | ・課長補佐3名 |
| ・係長10名 | ・主幹5名 | ・主事8名 | ・嘱託8名 | ・再任用5名 |

○臨時職員7名【R4年度4名】

（内訳）

- | | | | |
|-------------|-----|-------------|-----|
| ・地域福祉係 | 1 名 | ・地域包括支援センター | 2 名 |
| ・総和老人福祉センター | 1 名 | ・訪問介護支援係 | 2 名 |
| ・生活支援係 | 1 名 | | |

○非常勤職員41名【R4年度52名】

（内訳）

- | | | | |
|------------|------|----------------|------|
| ・登録ホームヘルパー | 22 名 | ・日常生活自立支援事業支援員 | 11 名 |
| ・せせらぎの里 | 2 名 | ・デイスティ | 5 名 |
| ・認定ヘルパー | 1 名 | | |

基本目標1

地域づくりのパートナー・支え合える人づくりをする社協

(1) 災害時支援体制の確保

①災害ボランティアセンターの設置・運営の実施

市内において災害が発生し、復興支援等が必要となった場合、本会が主体となり、『災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル』に沿って、同センターを設置・運営いたします。

②古河市及び関係機関との連携強化

古河市及び近隣4市町社協（結城市・小山市・野木町）等災害時協定を締結した関係機関を中心に、定期的な協議の場を設け、災害時の支援体制を構築していきます。

・今年度は、古河市及び近隣4市町社協（結城市・小山市・野木町）と災害時支援協定を締結いたしました。

③災害時活動用資機材整備事業「ストックヤードこが」の実施

市内の個人、団体に事前の登録を行ってもらい、災害ボランティアセンター設置運営時に必要な資機材を提供してもらうシステムです。

登録者数(総数)	R5年度	R4年度	前年度比
個人	0件	0件	増減なし
団体	6件	3件	3件増

④災害ボランティアリーダー養成研修会等の実施

災害ボランティアセンター運営訓練
災害ボランティアリーダー養成研修会

開催日 令和6年1月20日（土）

会場 古河福祉の森会館

参加者 110名（来賓・講師を除く）

内容 災害ボランティアセンターを通じた地域のつながり



災害ボランティアリーダー養成研修会

⑤災害発生時の避難行動支援者名簿への登録及び避難行動計画の作成支援

災害時において配慮が必要な方に対して、「古河市避難行動要支援者個別支援計画」を作成し、災害時においては、利用者の安全の確認を行い、行政機関等の関係機関と情報共有を図るよう努めます。

避難行動要支援者個別支援計画作成数 98件

⑥事業継続計画（BCP）の活用

災害等の緊急事態発生時に関し、平常時及び緊急事態発生時における社会福祉協議会の役割、体制、職員動員等を明らかにし、迅速、円滑な対策を講じ、災害や事故などで被害を受けても、重要な福祉サービスを中断させない、又は中断したとしても可能な限り早急に再開できるよう『事業継続計画（BCP）』を活用します。

(2) 小地域福祉活動の推進・見守りシステムの構築

①生活支援体制整備事業（マスコットキャラクター「らぶちゃん」）

高齢者の自立した日常生活の支援及び要介護状態になることの予防または軽減、悪化の防止を図るため、高齢者の生活支援及び介護予防に係る支援体制の整備を推進することを目的とする事業です。

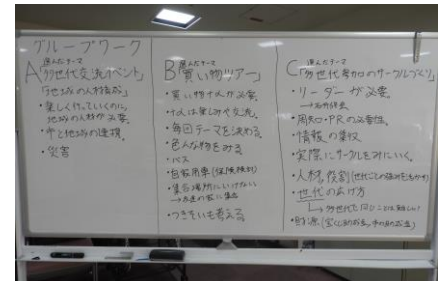
第1層協議体（地域生活支えあい会議）の開催（全4回開催）

	開催日	内容	参加人数
第1回	6月26日 (月)	委嘱状交付、自己紹介、事業説明 第2層協議体の現状について、地域課題等の共有	20名
第2回	9月25日 (月)	グループワーク①買い物ツアーの広げ方や必要な資源について グループワーク②「多世代交流」「人と人との絆づくり」に対する取り組みについて	19名
第3回	12月18日 (月)	グループワーク①「多世代交流」「多世代が参加できるようなサークルづくり」「買い物ツアー」「地域の人材育成」からテーマを1つ決める グループワーク②テーマについて、自分たちだったらどうするのか考える	17名
第4回	3月12日 (火)	第1層協議体の振り返り、第2層協議体の振り返り 個人ワーク①各所属の立場での第1層協議体に参加した感想、②今後、第1層協議体で話してみたいこと等	18名

②新たな地域での見守りシステムの構築

第2層協議体の開催

行政自治会 区分地区	第2層協議体名	R5年度	R4年度
第6地区	ほっこり6区	4回	3回
第7地区	カフェいこい（仮称）	10回	5回
第9地区	SUN9サロン	12回	6回
第15地区	いいかげん	2回	2回



第2層協議体設置に向けた勉強会の開催

地域の実情に合わせて、その地域で支えあうシステムの構築を目指し、支えあいの地域づくりについて共に考える機会として、未設置行政地区へ第2層協議体設置に向けた勉強会を開催しました。

「地域支えあい講演会！」

開催日 令和6年2月10日（土）

修了者 174名

講師 酒井 保氏（ご近所福祉クリエイション）

パネラー 小川 久雄氏（第6地区第2層生活支援コーディネーター）
宗方 隆氏（第7地区第2層生活支援コーディネーター）
長濱 忍氏（第9地区第2層生活支援コーディネーター）
坂下 弘樹（第1層生活支援コーディネーター）

内容 【講演】 生き生き元気な地域づくりのための3つのポイント
【活動紹介】 古河市ってどんな地域？地域づくり討論会



地域支えあい講演会

③生活困窮者支援等のための地域づくり事業

地域におけるつながりの中で、地域住民のニーズ・生活課題の把握、住民による「居場所づくり」や地域住民の相談を丸ごと受け止め解決する多様な担い手づくりを支援し、地域の課題の解決や多様な担い手が連携する仕組みづくりに努めました。

また、生活困窮者世帯へ見守り訪問し、生活状況の確認と食材等を配布しました。

・配布世帯 23世帯

④日常的な見守り活動の充実

いきいきサロン等に「ももちん困りごと悩みごとシート」をお配りし、地域の様々な問題に対応しました。昨年度は、8件の相談が寄せられ、専門機関に繋ぎ対応することができました。

また、各社協窓口及び包括支援センター、生活支援センター、ふれあいいきいきサロン等に、身近な地域におけるふくしの相談窓口として、『地域のふくし相談窓口』のノボリを設置しました。

⑤地域コミュニティを形成する居場所づくり

地域の繋がりを通じた助け合い活動や居場所づくりを推進するために、地域で「居場所」や「たまり場」のような場所として、市内にコマーシャルベンチを設置いたしました。

・設置箇所 7箇所

(三和いこいの家、みどりが丘ふれあいの家、西牛谷集落センター等)



コマーシャルベンチ

(3) 支え合う人づくり

①児童・生徒ボランティア活動協力校の指定及び連携

市内小中学校及び高等学校等をボランティア協力校として指定し、児童・生徒に対するボランティア活動の普及活動に取り組みました。また、様々なボランティア事業への積極的な参加協力を促進しました。(上限額：30,000円)

補助金合計 866,000円(30校) 【R4年度 811,000円(28校)】

(内訳)

- ・小学校 23校中(30,000円19校、25,000円1校、補助金辞退3校)
- ・中学校 9校中(30,000円7校、補助金辞退2校)
- ・中等教育学校 1校中(補助金辞退1校)
- ・高等学校 5校中(1,000円1校、30,000円1校、補助金辞退3校)
- ・専門学校 3校中(30,000円1校、補助金辞退2校、)
- ・職業訓練校 1校中(補助金辞退1校)

②社協出張講座「ももちん寺子屋教室」の実施

認知症講座や小中学校における福祉体験学習等の支援

(点字版や高齢者疑似体験セット、体験用車椅子等の貸出)等を行っています。

令和5年度 6件 【R4年度 3件】

・社協ってなに？

～社協について学びませんか？～ 2件 【R4年度 1件】

・在宅での介護方法について 1件

・高齢者のよろず相談窓口

～地域包括支援センターを知っていますか？～ 1件

・認知症講座 2件 【R4年度 2件】



③学生ボランティアサークル「ふうせん」の育成援助

ボランティア活動に関心のある中学生以上の学生によって組織され、代々活動が受け継がれています。市で行う行事や福祉まつりをはじめ、子ども会行事への協力を行っています。

・会員数 41名 【R4年度 38名】

＜自主活動＞

・夏期育成研修会

令和5年6月18日（日）

（さしま少年自然の家）

・春期育成研修会

令和6年3月24日（日）

（さしま少年自然の家）



④ふくしチャレンジスクールの開催

ボランティア体験月間にあたる夏休みを利用した体験学習を通して、自立性・協調性を培うと共に福祉への興味・関心を高め、ボランティア活動への取り組みのきっかけ作りを目的に実施しました。

やっチャオ！2023（5・6年生）

開催日 令和5年8月7日（月）

場 所 ネーブルパーク

総和南中学校体育館

参加者 27名

内 容 福祉学習・車椅子バスケット
ボール等



やっチャオ！2023～車椅子バスケット～

行っチャオ！2023（3・4年生）

開催日 令和5年8月22日（火）

参加者 37名

内 容 東日本盲導犬協会及び栃木県防災館見学

がんばっチャオ！2023（1・2年生）

開催日 令和5年7月29日（土）

場 所 古河福祉の森会館ホール

参加者 13名

内 容 ユニバーサルスポーツミニ運動会



行っチャオ！2023～盲導犬体験～

⑤地域サポーター養成講座（入門編・実践編）の開催

複雑・多様化するニーズに対応するため、市民と共に支援する仕組みづくりが重要となります。住み慣れた地域での暮らしをサポートするための人材を育てることを目的に、福祉の基本を学び、質の高い人材を養成し確保するために実施しました。

入門編

開催日 令和5年8月29日（火）

会 場 古河福祉の森会館

受講者 14名

内 容 ・社協って何？社協概要と事業について
・ヤングケアラーの概要と古河市の取り組みについて
・地域サポーターに求められる活動とは
・コミュニケーション技法を活用してみよう

講 師 社協職員



入門編～講義風景～

実践編

開催日 令和6年2月21日（水）
会 場 古河福祉の森会館
参加者 20名
内 容 ・ボランティア活動及び子ども食堂について
・子ども食堂の活動について
・グループワーク
講 師 古河こども食堂ネットワークの会



実践編～グループワーク～

⑥認知症サポーター養成講座の開催

地域包括支援センターの職員が講師として市内の小中高等学校へ出向き実施いたしました。

【地域包括支援センター古河担当地区】（延べ受講者数885名）

実施日	受講者	受講者数
R5. 7. 12	古河第五小学校6年生	17名
R5. 7. 14	古河第一小学校1年生	52名
R5. 9. 20	古河第一中学校1年生	145名
R5. 9. 22	古河第一高等学校1.2年生	269名
R5. 9. 30	古河薬剤師会	20名
R5. 11. 1	古河第三小学校4年生	64名
R5. 11. 14	瀬麗抜教育研究アカデミー	21名
R5. 11. 17	古河第二中学校1年生	173名
R5. 11. 21	古河郵便局	14名
R6. 1. 31	古河第二小学校5年生	80名
R6. 2. 22	古河第二高等学校2年生	30名



【地域包括支援センター三和担当地区】（延べ受講者数290名）

実施日	受講者	受講者数
R5. 9. 15	八俣小学校5年生	55名
R5. 11. 2	名崎小学校6年生	67名
R5. 11. 24	大和田小学校4年生	14名
R5. 12. 1	三和中中学校1年生	97名
R6. 2. 15	三和東中学校2年生	57名

対応の7つのポイント

- 1、まずは見守る ...さりげなく
- 2、余裕を持って対応する ...落ち着いて
- 3、声をかける時は1人で ...怖がらせない
- 4、後ろから声をかけない ...驚かせない
- 5、相手に目線を合わせてやさしい口調で
- 6、おだやかに、はっきりした滑舌で
- 7、相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

⑦古河市認定ヘルパーの養成

古河市で介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、高齢者を支える担い手の整備が必要になりました。市の委託事業「生活支援体制整備事業」の一環で養成講座を年2回実施し、「古河市認定ヘルパー」として市内業者での活躍につなげています。

開催日	開催場所	受講者数	内容
令和5年7月27日（木） ～28日（金）	福祉の森会館	11名	介護保険制度の概要等
令和5年11月28日（火） ～29日（水）	福祉の森会館	24名	介護保険制度の概要等

（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり

①ボランティア活動への参加促進

ももちゃんフードBOX事業

ももちゃんフードBOXの設置や、各種イベントでのフードドライブを行うことで、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりに努めました。

<収集実績>設置個所：6か所

フードボックス設置場所	R5	R4	前年比
古河市福祉の森会館	735件	526件	209件増
古河市総和福祉センター健康の駅	71件	47件	24件増
古河市三和地域福祉センター	65件	17件	48件増
古河市役所古河庁舎	679件	43件	636件増
古河市役所総和庁舎	42件	20件	22件増
古河市役所三和庁舎	100件	13件	87件増
合 計	1,692件	666件	1,026件増

<主な支援先>

生活困窮者や市内の福祉施設、子ども食堂、児童クラブ、その他市内小中学校
各フードパントリー事業等

ももちゃんフードドライブの実施

・第2回ふくしまつり、ドマンナカまつり、ジュンカン市

不要入れ歯回収事業

入れ歯を精製し、取り出された金属をリサイクルすることにより資源として生まれ変わります。
その利益がユニセフを通じての支援や回収団体に寄付（換金額の40%）され、ボランティア活動に役立ちます。

・収益金 29,501円【R4年度24,779円】

②企業の社会貢献活動等の促進

ももちゃんフードパントリーの実施

開催日 令和5年9月30日（土）

会 場 古河中央公民館

配布者 100名

配布品 パン、飲料、レトルト食品、菓子、米等

市内の企業や団体から食品等の提供を受け、生活困窮世帯や
歳末たすけあい事業対象者等へ配布しました。



ももちゃんフードパントリー

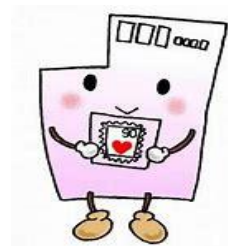
寄付の受け入れ

寄付金の他に主な物品の預託としては、使用済み切手・プリペイドカード・ベルマーク・書き損じはがき等で、定期的に預託される方のほか、企業の社会貢献活動の一環として預託していただきました。

・受入れ合計 225件

・金額合計 3,123,699円

【R4年度208件2,371,877円】



（5）ボランティアなど地域組織への活動支援

①ボランティアセンターの機能強化

地域社会において住民の参加するボランティア活動を推進し、市民一人ひとりが安心して暮らせる福祉コミュニティ作りを目的としています。

ボランティア活動に関する相談、登録、コーディネート及びボランティア活動を行なう上での拠点の提供を行いました。また、ボランティア活動情報の収集、提供と活動に関する講座等の開催、ボランティアグループとの連絡調整の緊密化等、ボランティア活動がより豊かなものになるように支援に努めました。

登録・活動申込

- ・団体登録数 66 団体 (会員 2,079 名) 【R4 年度 60 団体 (会員 1,885 名)】
- ・コーディネート件数 19 件 【R4 年度 10 件】

ボランティア活動保険への加入

ボランティア個人またはボランティアグループなどがボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任に備え、加入事務手続きを行いました。

- ・登録件数 個人 17 件
団体 46 件

古河福祉の森会館ボランティア市民活動センターの設置・運営

- ・利用回数 199 日 【R4 年度 166 日】

②社協登録ボランティア団体等への運営援助（地域食堂等）

- 1) 社協登録ボランティア団体 【R4 年度 37 団体 1,780,000 円】

- ・社協登録ボランティア（一般） 25 団体 915,000 円
- ・子ども食堂（地域食堂） 6 団体 600,000 円

2) その他の関係団体

・古河市民生委員児童委員第1地区協議会	255,000 円
・古河市民生委員児童委員第2地区協議会	190,000 円
・古河市民生委員児童委員第3地区協議会	323,000 円
・古河市民生委員児童委員第4地区協議会	168,000 円
・古河市民生委員児童委員第5地区協議会	132,000 円
・古河市身体障害者(児)福祉団体連合会	550,000 円
・古河市心身障害児(者)父母の会連合会	300,000 円
・学生ボランティアサークルふうせん	0 円
・古河市青少年相談員連絡協議会	50,000 円
・古河市子ども会育成連合会	100,000 円
・古河市母子寡婦福祉連合会	150,000 円
・古河市ボランティア協会	700,000 円
・古河市老人クラブ連合会	300,000 円
・更生保護女性会古河支部	50,000 円
・古河市聴覚障害者協会	30,000 円
・古河市視覚障害者協会	20,000 円
・古河市くらしの会	30,000 円
16 団体合計	3,348,000 円

【R4 年度 17 団体 3,698,000 円】

③ボランティア活動の情報収集拡大・充実

ホームページや社協だよりにおいて情報発信やボランティア活動の募集等を行いました。

④ボランティア講座等の実施

おもちゃドクター養成講座

- 開催日 令和5年10月17日（火）～18日（水）
- 会場 古河福祉の森会館 創作室2
- 受講者 16 名
- 内容 ・おもちゃドクターに必要なスキル等



スクウェアステップリーダー講習会

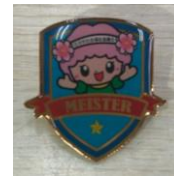
開催日 令和5年9月14日(木)・21日(木)
 会場 古河市中心公民館
 受講者 11名
 内容 ・スクウェアステップリーダーに必要な
 スキル等



スクウェアステップリーダー講習会

⑤地域福祉活動マイスター認定制度の実施

社協が実施した各講座の参加者や地域福祉活動実践者へボランティアパスポートを配布し、各段階の活動回数に応じて「ももちゃんピンバッジ」贈呈し、継続的なボランティア活動支援に繋がりました。



ももちゃんピンバッジ
～ワンスター～

累計	ワンスター	ツースター	スリースター	フォースター	シルバー	ゴールド
	422名	268名	11名	0名	0名	0名

⑥古河市老人クラブ連合会への活動支援（市補助金手続き支援等）

明るい長寿社会づくりと保健福祉の向上を目指し、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織としての事務局運営を支援しました。

・市内老人クラブ数 76クラブ 【R4年度 122クラブ】

(6) 地域ネットワークの構築

①各種関係団体の連携強化

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域において多職種相互の協働等による、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントの実現を目指し、地域における連携・協働の体制づくりや、介護支援専門員に対する支援等を行いました。

【介護支援専門員との連携（相談・同行）包括支援センター古河・三和担当件数】

地 区	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
古河地区	54件	58件	4件減
三和地区	27件	21件	6件増

専門職からの在宅医療・介護に関する相談業務

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関や介護事業所等の専門職からの相談に応じ、関係者間の連携・協働の体制づくりに努めました。

【関係機関からの相談（医療機関等）包括支援センター古河・三和担当件数】

地 区	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
古河地区	74件	66件	8件増
三和地区	51件	39件	12件増

②地域福祉ネットワークの構築

買い物支援事業（モデル地域 古河市大山在住の高齢者）

第1層協議体「地域生活支えあい会議」の中で福祉課題の抽出、課題解決の手段について検討し取り組みを具体化しました。資源調査の中で特に買い物支援の需要が高かった地域をモデルとして買い物の支援を必要としている人を大型店やショッピングモール等に送迎し、買い物支援・居場所・仲間づくりを目指しています。継続していく中で、施設や地域住民の協力も得られており今後の事業化や地域住民が主体となる取組としての可能性を検討しています。

第1回

開催日 令和5年7月19日（水）

行 先 マーケットシティ古河

参加者 11名（内ボランティア4名）

第2回

開催日 令和6年3月6日（水）

行 先 マーケットシティ古河

参加者 11名（内ボランティア4名）

③コミュニティソーシャルワーク機能の強化

アウトリーチ支援強化事業

本事業は、『ひきこもり』や、いわゆる『8050』問題の当事者等、複雑、複合化した支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない者に必要な支援を届けるための事業です。

	R5年度	R4年度	前年度比
相談受付件数	364件	217件	147件増
プラン作成件数	4件	6件	2件減

基本目標2

支援を必要としている人を包括的、重層的に支える社協

（1）在宅福祉サービスの充実・支援（高齢者・介護保険事業）

①ひとり暮らし高齢者給食サービス事業

市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、引きこもりの防止と介護予防を目的に各公民館等において各地区民生委員の協力をいただき実施。さらに、ボランティア同士の交流会、研修会も実施。

実施会場 2会場（各月1回）

利用者累計 277名 【R4年度 8会場 591名】

②ふれあいいきいきサロン事業

地域住民が自主的に企画運営をし、人と人とを結ぶ交流の場、仲間づくりの場を 目指した活動を行いました。また、サロン運営に対しての助成金交付や活動、開設についての助言を実施しました。

助成金 20,000円（一律）

サロン数 56サロン 【R4年度 56サロン】
（内訳）古河地区 27サロン 【R4年度 29サロン】
総和地区 13サロン 【R4年度 12サロン】
三和地区 16サロン 【R4年度 15サロン】

③在宅福祉サービスセンター「ももちゃんお助け隊」運営事業

住民参加型の非営利的な会員制の在宅サービスで、高齢者や障がい者などがある家庭や、子育て中の家庭に対し家事援助などの支援を行いました。「ももちゃんお助け隊」と愛称を付けて協力会員、利用会員の増加を図りました。

- ・利用会員利用回数（延べ） 444名【R4年度518名】
- ・協力会員活動回数（延べ） 177名【R4年度206名】
- ・支援回数 1, 439回【R4年度1, 839回】
- ・支援時間 2, 081時間【R4年度2, 599時間】



④居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護認定を受けた方の介護度や心身の状態に応じて、適切なサービスが受けられるよう、古河市やサービス事業所等との連絡調整を重ね、適正なケアプラン作成に努めました。また、要介護や要支援になった方が、住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、各種研修会に積極的に参加し、援助に関する専門家としてのスキルアップを図りました。

《延べ利用者数》

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
居宅介護支援	1, 536名	1, 983名	447名減
介護予防支援	287名	401名	114名減

⑤訪問介護事業（介護保険事業）

介護認定を受けた高齢者等に対し、入浴・排泄・食事の介助、生活支援サービスを提供しました。高齢者等が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ日常生活を営むことができるように留意しました。また、特定事業所として社協内研修の実施や各種研修会に積極的に参加しました。

《延べ利用者数》

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
訪問介護	4, 024名	4, 061名	37名減
総合事業	2, 978名	3, 031名	53名減

ヘルパー研修会

開催日 令和5年9月30日（土）
 会 場 三和地域福祉センター
 出席者 25名
 内 容 摂食嚥下の基礎知識
 講 師 古河赤十字病院の専門職の方に指導していただきました。

⑥家事育児訪問支援事業

家事・育児等に対して不安や負担を抱える妊産婦および子育て世帯において、親族等の支援がなく心身の不調により家事や育児を行うことが困難な世帯に対して、ヘルパーを派遣し家事や育児の一部を支援しました。

《延べ利用者数》

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
家事支援	79名	—	

⑦自動車運送（移送サービス）事業

訪問介護事業の移送サービスに付帯する通院等乗降介助業務のため、道路運送法における有償運送の許可を取得し、要介護者の移送を実施しています。

《延べ利用者数》

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
自動車運送回数	3 2 0 回	5 9 3 回	2 7 3 回減

⑧地域包括支援センター事業（古河地区・三和地区）

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、保健・医療・介護・福祉の専門職を配置し、下記の事業に取り組みました。

1) 介護予防・日常生活支援総合事業及び指定介護予防支援に関する業務

要支援認定者に対して、自立した生活が送れるよう、心身の状況や置かれている環境等を勘案した介護予防サービス計画を作成するとともに、その提供のために介護予防サービス事業者等との連絡調整を行いました。

【介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援計画作成件数】

ケアプラン作成数		R 5 年度	R 4 年度	前年度比
古河	センター作成	1, 3 8 1 件	1, 3 5 0 件	3 1 件増
	委託事業所作成	5, 0 7 5 件	4, 8 1 4 件	2 6 1 件増
	合 計	6, 4 5 6 件	6, 1 6 4 件	2 9 2 件増
三和	センター作成	7 9 0 件	8 8 8 件	9 8 件減
	委託事業所作成	2, 3 1 8 件	2, 2 8 7 件	3 1 件増
	合 計	3, 1 0 8 件	3, 1 7 5 件	6 7 件減

2) 認知症高齢者行方不明等対応業務

高齢者の行方不明事案が発生した際に、警察署や市、関係機関と連携し、家族に認知症への対応についての助言や、介護保険サービスの利用につなげるなど、再発防止に努めました。

【行方不明及び身元不明の対応】

地区	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
古河	9 件	1 6 件	7 件減
三和	1 件	1 件	増減なし

3) 地域ケア個別会議の開催（古河地区年6回・三和地区6回開催）

高齢者の実態把握や課題解決にあたり、多職種の専門職による検討会議を開催し、総合調整を図りました。

⑨総和老人福祉センター「せせらぎの里」管理運営事業【令和6年3月末終了】

＜せせらぎの里運営＞（指定管理者制度導入事業）

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
利用者累計（個人）	1 0, 4 2 3 名	9, 6 2 3 名	8 0 0 名増
（団体）	6 6 7 名	6 8 9 名	2 2 名減
浴場利用者数	1 0, 4 2 3 名	9, 6 2 3 名	8 0 0 名増

・自主事業

施設利用の拡大及び公平な利用を図り、利用促進を目的に自主事業を行いました。

刃物研ぎ

開催日 令和5年5月30日（火）
件 数 29件【令和4年度34件】

⑩福祉用具（車椅子等）の貸出

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
車椅子	2 6 1 件	2 5 6 件	5 件増
介護用ベッド	3 9 件	5 1 件	1 2 件減

（２）在宅福祉サービスの充実・支援（障がい者）

①デイスティ事業

障害児（者）を介護している家族等が一時的に家庭においての介護が困難になったときに、障害児（者）を一定時間預かり家族の負担軽減を図るため、支援スタッフが身の回りの世話や援助のサービス提供を行いました。

<実施施設：古河福祉の森会館>

のぞみ	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
実施日数	8 0 日	1 0 3 日	2 3 日減
利用者累計	1 0 1 名	1 3 4 名	3 3 名減
利用時間累計	2 6 9 時間	3 1 3 時間	4 4 時間減
支援スタッフ	1 6 4 名	1 5 9 名	5 名増

<実施施設：古河市三和地域福祉センター>

さんわ	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
実施日数	0 日	4 日	4 日減
利用者累計	0 名	4 名	4 名減
利用時間累計	0 時間	2 1 時間	2 1 時間減
支援スタッフ	0 名	1 2 名	1 2 名減

②指定居宅介護事業（自立支援事業）

在宅で生活されている障がいのある方に対して、入浴・排泄・食事の介護並びに家事支援サービスを提供しました。

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
指定居宅介護事業	2 5 1 名	3 1 6 名	6 5 名減
同行援護	1 0 1 名	1 5 1 名	5 0 名減
重度訪問事業	0 名	0 名	増減なし

③特定相談支援事業・障害児相談支援事業

障がいのある方が有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、相談及びサービス等利用計画書を作成し、効率的に提供されるように支援しました。

	R 5 年度
指定相談支援事業（障がい者）	3 9 名
指定相談支援事業（障がい児）	7 8 名

基本目標3

社会的弱者に寄り添い、権利擁護を推進する社協

(1) 生活安定のための環境づくり

①生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の相談に広く対応し、その者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認しながら個々の状態にあった支援プランを作成し、関連事業や関係機関との連携を行いました。

自立相談支援事業

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
新規相談受付件数	3 1 4 件	3 2 4 件	1 0 件減
プラン策定数	1 2 件	2 3 件	1 1 件減
一般就労者数	2 1 名	1 4 名	7 名増

住居確保給付金事業

離職等により経済的に困窮し、住居を喪失した者又は住居を喪失する恐れのある者に対し、家賃相当分の住居確保給付金を支給し、住居と就労機会の確保に向けた支援を行いました。

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
住宅確保金支給決定	0 名	1 4 名	1 4 名減
うち常用就職者	0 名	6 名	6 名減

家計相談支援事業

家計の見直しを行いながら、困窮世帯の家計管理能力の向上を図り、早期に生活を再生させる支援を行いました。

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
家計相談利用者数	1 4 名	2 0 名	6 名減
家計再生プラン策定	6 名	7 名	1 名減

②アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（別記）

※基本目標1（6）地域ネットワークの構築 ③コミュニティソーシャルワーク機能の強化

③ヤングケアラー支援体制強化事業

ヤングケアラー・コーディネーターを配置し、関係機関の職員、教職員等を対象とした研修会を開催すること等により、ヤングケアラーを早期に発見、把握できるようにします。

そして、ヤングケアラーへの支援体制の強化を図り、ヤングケアラーや、その家族も含めた支援が適切に実施されるようにすることを目的とします。

<研修会開催の実績>

【教員向けヤングケアラーに関する研修会】

開催日 令和5年8月9日（水）・8月10日（木）

場 所 ユーセンターKI 防水

参加者 2日間で49名（市内小中学校のうち31校が参加）

内 容 ・ヤングケアラーの概要
・支援体制の構築
・グループワーク

※他にも民生委員児童委員協議会、相談支援事業所（障がい）を対象として研修を実施しています。

・参加人数 210名（延べ）



北海道大学大学院の松澤准教授による基調講演

<ヤングケアラー支援体制強化事業での支援実施件数>

※研修実施後に関係機関から支援の要請を受けたことにより、対象者への支援を開始しました。
教育委員会・学校・関連事業所・ボランティア等と支援体制を構築し、支援にあたっています。

	R 5 年度（新規事業）
支援の要請	6 件
支援の実施	3 件

④生活福祉資金貸付事業

茨城県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯や障害者世帯、高齢者世帯をはじめ、失業等により生計の維持が困難となった世帯に対して、世帯の自立を支援することを目的に貸付に関する相談や申請事務手続きを行いました

貸付申請件数 2 件【R4 年度 0 件】

- ・総合支援資金 0 件 ・福祉資金 1 件 ・教育支援資金 1 件
- ・不動産担保型生活資金 0 件

【生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援業務事務】

償還免除を行った借受人、償還免除に至らないものの償還が困難な借受人への架電や訪問等でフォローアップ支援を行いました。

- ・償還免除を行った借受人への生活状況の把握
3 5 6 件（延べ）内訳：受架電 3 0 5 件、訪問 4 件、来所 4 7 件
把握後に自立相談支援機関に繋いだ件数 1 4 2 件（実数）
- ・償還免除申請に未応答の借受人への支援
1 0 件（実数）記載援助、償還免除案内
- ・償還免除に至らないものの償還が困難な借受人への支援
6 4 0 件（延べ）内訳：受架電 4 6 1 件、訪問 4 7 件、来所 1 3 2 件
把握後に自立相談支援機関に繋いだ件数 5 9 件（実数）
- ・その他の支援
1 9 9 件 内容：・生活相談・償還方法変更・書類確認・就労支援等

⑤生活一時資金貸付事業

本会の自主事業で、低所得世帯に対する支援として貸付を行いました。

- ・貸付件数 1 件【R4 年度 1 件】
- ・貸付金額 1 0, 0 0 0 円【R4 年度 20, 000 円】
- ・償還完了件数 2 件【R4 年度 1 件】

⑥緊急生活支援対策事業（お米券等の配布等）

古河市における生活困窮者等に対する支援の一環として、緊急的な対応を必要とする世帯に対し、緊急支援を行ないました。

- ・救援物資支給 1 件

⑦行旅人に対する援助

遠隔地から仕事探し等のために居住地を出て来たが、帰るための旅費がなくなってしまった方を対象とした援助を行いました。（2 0 0 円）

- ・4 件 8 0 0 円【R4 年度 6 件・1, 200 円】

⑧風水震火災被災者に対する援助

火災 全焼 2 0, 0 0 0 円、半焼 1 0, 0 0 0 円のお見舞い

- ・全焼 4 件 ・半焼 1 件【R4 年度 全焼 2 件・半焼 2 件】

(2) 権利擁護の充実（成年後見サポートセンターの拡充）

① 日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的または精神的に障がいのある方など判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行いました。

	R 5 年度末	R 4 年度末	前年度比
支援中	18 件	20 件	2 件減
新規契約	5 件	6 件	1 件減
契約終了	7 件	6 件	1 件増

② 成年後見制度の利用推進と中核機関機能の強化

認知症や障害などにより判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度を円滑に利用できる支援を行い、擁護するとともに、成年後見制度の利用促進を図ることを目的とします。

< 成年後見制度の利用に関する相談 >

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
問合せ	93 件	119 件	26 件減
申立相談支援	162 件	72 件	90 件増
利用中の支援	0 件	4 件	4 件減

< 成年後見制度の利用に関する手続き支援 >

	R 5 年度	R 4 年度	前年度比
申立支援実人数	31 件	7 件	24 件増

< 市民後見人の選任（累計） >

	R 5 年度末	R 4 年度末	前年度比
人数	1 人	1 人	増減なし

< 市民後見人の育成に関すること >

【3 事業合同研修会】

開催日 令和5年11月14日（火）

場 所 古河福祉の森会館2階 視聴覚室

参加者 19 名

（市民後見人養成講座修了者・日常生活自立支援事業生活支援員・心配ごと相談員）

内 容 ・身元保証や任意後見

・終活に必要な基礎知識について

【市民後見人養成講座修了者情報交換会】

開催日 令和5年11月14日（火）

場 所 古河福祉の森会館 ボランティアセンター

参加者 14 名

内 容 ・成年後見サポートセンターこが実績報告

・市民後見人活動報告

・事例検討（グループワーク）

< 中核機関に関すること >

【成年後見中核機関福祉関係者向け研修会】

開催日 令和6年2月28日（水）

場 所 古河福祉の森会館2階 視聴覚室

参加者 25 名（居宅介護支援事業所ケアマネジャー、相談支援事業所相談員、在宅介護支援センター相談員、高齢介護課、障がい福祉課）

内 容 ・成年後見サポートセンター・日常生活自立支援事業業務説明

・成年後見制度について

【古河市成年後見地域連携協議会】

開催日 令和6年3月22日（金）

場 所 健康の駅 2階視聴覚室

参加者 24名（司法関係者、福祉関係者、医療関係者、金融関係者、行政関係者）

内 容 ・古河市成年後見地域連携協議会について
・意見交換会

③法人後見事業の実施＜受任者数＞R5年度末

適切な後見人がいない方等に対し、本会が法人として、後見人等を受ける事業です。

	認知症高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		その他		合計
	後見	保佐	後見	保佐	後見	保佐	後見	保佐	
後見等	6	1	1	0	4	0	1	0	13
後見監督	1	0	0	0	0	0	0	0	1
任意後見契約									1
									15

（3）相談体制の充実

①相談支援体制の充実（地域包括支援センター事業の一部）

総合相談支援業務、権利擁護業務

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、必要な支援を把握し、適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行いました。

相談件数	R5年度	R4年度	前年度比
古河地区	2,255件	1,849件	406件増
三和地区	738件	570件	168件増

生活困窮・権利擁護等の支援センターの設置・運営

「古河市生活支援センター」と「成年後見サポートセンターこが」を総和地区の「たんぽぽ館」へ移転しました。

上記事業を同事務所にする事で、生活困窮者や権利擁護が必要な方へのワンストップ支援が出来る体制を整備しました。

②心配ごと相談事業

開催日 毎週水曜日 午後1時30分～3時30分

場 所 古河福祉の森会館、三和地域福祉センター

相談件数累計 37件【R4年度 33件】

相談内容 ・生活、職業、家族、病気、人権、財産、近所間のトラブル等

③苦情解決体制の充実

苦情解決第三者委員会【R4年度1回開催】

開催日 令和5年10月20日（金）

午後2時00分

場 所 三和地域福祉センター

出席者 苦情解決第三者委員2名 事務局2名

報告件数 3件



基本目標 4

新たな福祉ニーズに柔軟に対応し、次世代へと信頼をつなぐ社協

(1) 適正な法人の運営

①地域福祉活動計画の推進

「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉活動計画に沿った各事業を行いました。

②ワーキングチームによる第3期地域福祉活動計画の進捗評価

「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉活動計画に沿った各事業を行いました。

③事務局体制の充実

理事会・評議員会・監事会・各委員会の開催

1) 理事会(全5回) 【R4年度4回開催】

【第1回】

開催日 令和5年6月5日(月) 午後1時30分
会 場 古河福祉の森会館 視聴覚室
出席者 理事14名 監事2名
議 事
・令和4年度社会福祉法人一般検査結果報告について
・古河市社会福祉協議会理事候補者の選任について
・古河市社会福祉協議会監事候補者の選任について
・古河市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
・令和4年度古河市社会福祉協議会第3次補正収支予算の専決処分の報告及び承認を求めることについて
・令和4年度古河市社会福祉協議会事業報告について
・令和4年度古河市社会福祉協議会収支決算について
・評議員会の招集事項について

【第2回】

開催日 令和5年6月27日(火) 午後3時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事15名 監事2名
議 事
・古河市社会福祉協議会会長の選任について
・古河市社会福祉協議会副会長の選任について
・古河市社会福祉協議会常務理事の選任について
・古河市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
・古河市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
・古河市社会福祉協議会会長の補佐の順位について
・古河市社会福祉協議会専門委員会の組織について

【第3回】

開催日 令和5年9月5日(火) 午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事14名 監事1名
議 事
・職務執行状況の報告について
・令和5年度第1回共同募金配分委員会の報告について
・令和5年度第1回福祉事業推進委委員会の報告について
・令和5年度古河市社会福祉協議会第1次補正収支予算について
・評議員会の招集事項について

【第4回】

開催日 令和5年12月4日（月）午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事14名 監事2名
議 事

- ・令和5年度第2回福祉事業推進委員会の報告について
- ・令和5年度第2回共同募金配分委員会の報告について
- ・令和5年度社会福祉法人一般検査結果報告について
- ・令和5年度古河市社会福祉協議会第2次補正収支予算について
- ・古河市社会福祉協議会職員給与に関する規程の一部改正について
- ・評議員の招集事項について

【第5回】

開催日 令和6年3月5日（火）午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事15名 監事2名
議 事

- ・職務執行状況の報告について
- ・古河市社会福祉協議会理事候補者の推薦について
- ・古河市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
- ・令和5年度古河市社会福祉協議会第3次補正収支予算について
- ・古河市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・古河市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について
- ・令和6年度古河市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和6年度古河市社会福祉協議会収支予算について
- ・評議員の招集事項について

【第6回】

※書面決議（時間的猶予不足の為）
議事提出 令和6年3月19日（火）
議 事

- ・古河市社会福祉協議会常務理事の選任について

2）評議員会（全4回）【R4年度4回開催】

【第1回】

開催日 令和5年6月27日（火）午後1時30分
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 評議員15名
議 事

- ・令和4年度社会福祉法人一般検査結果報告について
- ・古河市社会福祉協議会理事の選任について
- ・古河市社会福祉協議会監事の選任について
- ・令和4年度古河市社会福祉協議会第3次補正収支予算の専決処分の報告及び承認を求めることについて
- ・令和4年度古河市社会福祉協議会事業報告について
- ・令和4年度古河市社会福祉協議会収支決算について

【第2回】

開催日 令和5年9月26日（火）午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 評議員18名
議 事

- ・令和5年度古河市社会福祉協議会第1次補正収支予算について

【第3回】

開催日 令和5年12月19日（火）午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 評議員15名
議 事

- ・令和5年度古河市社会福祉協議会第2次補正収支予算について

【第4回】

開催日 令和6年3月19日（火）午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 評議員16名
議 事

- ・古河市社会福祉協議会理事の選任について
- ・令和5年度古河市社会福祉協議会第3次補正収支予算について
- ・古河市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・令和6年度古河市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和6年度古河市社会福祉協議会収支予算について

3) 監事会（全1回）【R4年度1回開催】

開催日 令和5年5月10日（水）午前10時
会 場 社会福祉協議会 相談室
出席者 監事2名
内 容

- ・令和4年度の監査について

4) 評議員選任・解任委員会（全3回）【R4年度2回開催】

【第1回】

開催日 令和5年6月5日（月）午後3時30分
会 場 古河福祉の森会館 創作室1
出席者 評議員選任・解任委員5名
議 事

- ・古河市社会福祉協議会評議員の選任について

【第2回】

開催日 令和5年6月27日（火）午後4時
会 場 古河福祉の森会館 創作室1
出席者 評議員選任・解任委員5名
議 事

- ・古河市社会福祉協議会評議員の選任について

【第3回】

開催日 令和6年3月5日（火）午後4時00分
会 場 古河福祉の森会館 創作室1
出席者 評議員選任・解任委員5名
議 事

- ・古河市社会福祉協議会評議員の選任について

5) 共同募金配分委員会（全2回）【R4年度3回開催】

【第1回】

開催日 令和5年8月21日（月）午前10時
会 場 古河福祉の森会館 創作室1
出席者 委員6名
議 事

- ・委員長、副委員長の選任について
- ・令和5年度歳末たすけあい事業配分について

【第2回】

開催日 令和5年11月13日（月）午前10時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 委員5名
議 事

- ・令和5年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分対象者及び歳末地域たすけあい事業配分対象団体の決定について
- ・令和5年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分金額及び歳末地

6) 福祉事業推進委員会（全2回）【R4年度1回開催】

【第1回】

開催日 令和5年7月25日（火）午後1時30分
 会 場 古河福祉の森会館 創作室1
 出席者 委員7名
 議 事 ・委員長、副委員長の選任について
 ・古河市社会福祉協議会顕彰について

【第2回】

開催日 令和5年9月28日（木）午後1時30分
 会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 委員5名
 議 事 ・第6回古河市社会福祉大会顕彰者の決定について

7) 役員（理事・監事）研修（全1回）【R4年度1回開催】

【第1回】

開催日 令和6年1月20日（土）午前10時30分
 場 所 古河福祉の森会館 視聴覚室・ホール
 出席者 役員7名
 内 容 災害ボランティアセンターを通じた地域のつながりについて

8) 法人後見運営委員会（全2回）【R4年度2回開催】

原則2ヶ月に1回（偶数月の第4木曜日）開催。案件等がない場合は中止

	実施年月日	協議内容
第1回	令和5年 4月27日（木）	法人後見受任審査等
第2回	令和6年 2月22日（木）	実施報告等

9) 衛生委員会（全12回）【R4年度12回開催】

	実施年月日	協議内容
第1回	令和5年 4月13日（木）	今年度の取組について等
第2回	令和5年 5月16日（火）	新型コロナウイルス感染症への対応等
第3回	令和5年 6月 8日（木）	職場巡視（古河事務所・古河包括）等
第4回	令和5年 7月18日（火）	食中毒について等
第5回	令和5年 8月10日（木）	健康診断結果の数値の見方について等
第6回	令和5年 9月19日（火）	セルフケアについて等
第7回	令和5年10月17日（火）	職場巡視（総和・三和）等
第8回	令和5年11月21日（火）	ヨガ教室・産業医について等
第9回	令和5年12月11日（月）	飲酒・暴飲暴食について等
第10回	令和6年 1月16日（火）	目の健康について等
第11回	令和6年 2月19日（月）	快適な職場環境について等
第12回	令和6年 3月19日（火）	次年度の内容について等

10) 感染症対策委員会（全2回）【R4年度1回開催】

	実施年月日	協議内容
第1回	令和5年 5月16日（火）	新型コロナウイルス感染症への対応等
第2回	令和5年11月21日（火）	食中毒について等

④職員研修の実施（全2回）

プレゼンテーション能力向上研修

開催日 第1回：令和5年6月20日（火）8時45分
 第2回：令和5年7月4日（火）8時45分
 第3回：令和5年7月25日（火）8時45分
 場 所 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 中堅職員7名
 内 容 企画立案能力向上等

災害ボランティアセンター運営訓練/リーダー研修

開催日 令和6年1月20日（土）10時
 場 所 古河福祉の森会館 視聴覚室・ホール
 出席者 42名
 内 容 災害ボランティアセンターを通じた地域のつながりについて等



（2）広報・啓発活動

①社協だよりの発行

年間4回（6月1日、10月1日、12月1日、3月1日）
 ・作成数 46,500部
 ・配布先 古河市内全戸、関係機関等

②ホームページの公開

社協ホームページの中に「ももちゃんブログ」を開設し、社協活動の画像を公開することでPRをしております。

ホームページアドレス URL <http://www.koga-syakyo.com/>

	R5年度	R4年度	前年度比
総閲覧者数	109,824件	100,814件	9,010件増

（H23.6開設）

③ふくしまつり・イベントの開催（共催）

第6回古河市社会福祉大会の開催（3年毎に開催）

映画上映を中心とした「第2回ふくしまつり」と共同開催（同時開催）で実施しました。
 開催日 令和5年11月23日（木）
 会 場 古河福祉の森会館 ホール
 表彰者 232個人・団体
 参加者 102名
 内 容 古河市社会福祉協議会顕彰対象者への表彰



第6回古河市社会福祉大会

第2回ふくしまつりの開催

古河、総和、三和各地区で行っていた「ふくし祭り」を一つに統合し、映画の上映を中心とした新たな福祉のお祭りの2回目として「第6回古河市社会福祉大会」と同時開催いたしました。

開催日 令和5年11月23日（木）
 会 場 古河福祉の森会館 全館
 参加団体 37団体
 映画鑑賞者 330名
 内 容 映画上映、福祉体験、模擬店、バザー等



第2回ふくしまつり～福祉体験～

K o g a インクルーシブフェスティバルの協賛

開催日 令和5年12月2日(土)

場 所 とねミドリ館

内 容 講演会・表彰・作品展示

第73回 茨城県社会福祉大会

開催日 令和5年10月26日(木)

場 所 ザ・ヒロサワ・シティ会館

顕彰者 43名



第73回茨城県社会福祉大会

(3) 財源の確保

①社会福祉協議会会費

社協財源の基盤となる会費を各世帯や企業等に協力していただきました。

特別(大口)会費については、事務局長以下係長までの職員が再度各企業に訪問して

協力依頼を実施しました。

(単位：円)

	令和5年度	令和4年度	前年度比
一般会費	9,564,145	9,974,955	410,810 減
特別会費	486,000	560,000	74,000 減
特別大口会費	3,205,000	3,265,000	60,000 減
合 計	13,255,145	13,799,955	544810 減

②共同募金(赤い羽根、歳末たすけあい)事業の支援

茨城県共同募金会古河市共同募金委員会として、共同募金運動(赤い羽根募金、歳末たすけあい募金)、災害たすけあい義援金の募金活動を実施しました。

《実績額》赤い羽根募金 19,798,590円【R4年度20,372,541円】

歳末たすけあい募金 8,094,398円【R4年度8,487,611円】

災害たすけあい義援金 615,693円【R4年度65,270円】

(内訳) 令和6年能登半島地震災害義援金 615,693円

歳末たすけあい配分事業

自己申請方式により、下記の対象世帯に一律10,000円を配分しました。

(R4年度配分金 対象世帯あたり一律11,000円)

※協力いただいた金額と申請件数によって金額は変動いたします。

	配分対象別	配分金額(円)	合計(件)
1	満70歳以上のひとり暮らし高齢者	5,650,000	565
2	満70歳以上の高齢者のみ世帯	1,120,000	112
3	満70歳以上の高齢者が中学3年生以下の子どもを養育している世帯	0	0
4	要介護3以上の認定を受けている方のいる世帯	50,000	5
5	準要保護世帯の認定を受けている世帯	40,000	4
6	中学3年生以下の子どもを養育しているひとり親世帯であり、児童扶養手当を受給している世帯	190,000	19
7	障害者のいる世帯(身体障害者手帳1・2級、療育手帳ⅢまたはA、精神障害者保健福祉手帳1・2級、障害者年金1級・2級)	520,000	52
	合 計	7,570,000	757

【R4年度8,107,000円・737件】

③その他の財源の拡充

1) 不要入れ歯回収事業（別記）

※基本目標 1（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり①ボランティア活動への参加促進

2) 寄附金の受け入れ（別記）

※基本目標 1（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり②企業の社会貢献活動等の促進

3) ファンドレイジングの実施

地域支えあい講演会等にて募金箱及び振込用紙を配付しました。

・令和5年度合計募金額 80,912 円



地域支えあい募金箱